

経営比較分析表（令和元年度決算）

岡山県 新見市

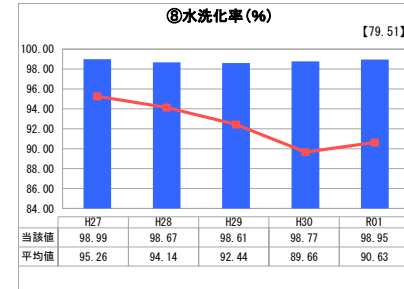
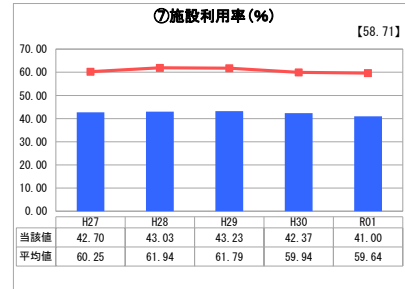
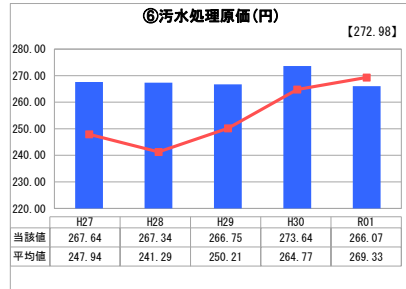
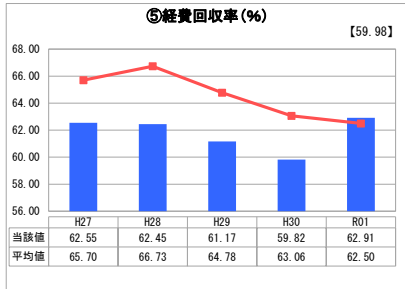
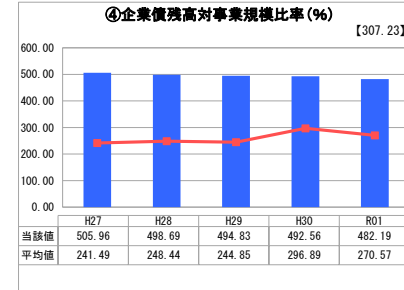
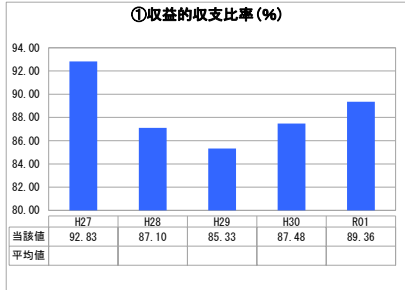
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	14.29	100.00	3,270

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
29,069	793.29	36.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,113	212.85	19.32

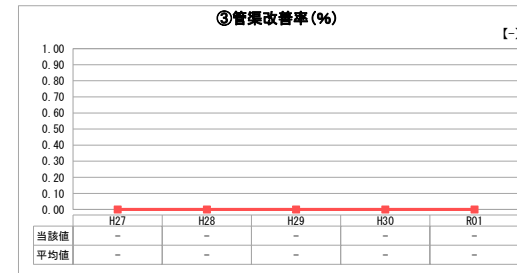
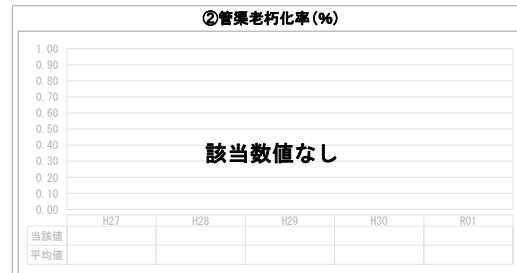
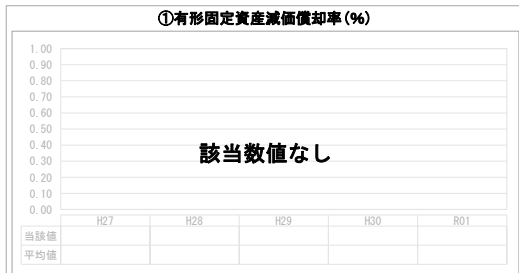
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が100%を割り込む赤字経営となっている。
 企業債残高対事業規模比率が全国平均を上回っており、毎年度横ばいで推移している。今後も新規浄化槽設置を行い、新規借入が必要のため企業債残高は横ばいになる見通しである。
 経費回収率は全国平均であるが、下水道使用料単価が安価なため使用料で経費が賅えていない状況である。
 汚水処理原価はほぼ全国平均であり、委託費の減により前年度を下回っている。
 水洗化率はほぼ100%に達しているが、施設利用率は全国平均より低く、人口減少により計画値に達していない。

2. 老朽化の状況について

浄化槽設置基数は年々増加しており、古い設備の浄化槽プロア等の故障が予想され、計画的に更新を行っていく必要がある。

全体総括

収益的には赤字であり、適正な下水道使用料に設定を行う必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。